

令和 7 年度 5 月運営状況

【利用状況】

- ① 月末登録者 28 名 利用延べ人数 844 名 稼働率 93.88%
長期宿泊者 9 名。宿泊 273 名/279 名、通所 197/279 名、訪問 375 件
- ② 新規登録者 0 名、登録解除 0 名、登録再開 1 名
退院により 1 名が登録再開。
- ③ 更新申請 2 名、認定調査の立ち合いをし、自宅や施設での生活状況、生活課題等について伝える。施設を利用したことで状態も安定しており介護度が下がっている。現在登録されている方で状態の低下が見られている方はいない状況、区分変更申請は無し

【プロセス】

- ①事故対策についてはヒヤリハット 56 件、事故 2 件であった。事故については夜間帯に施設より離設してしまう重大事故であった。夜勤者より報告を受けあおい職員へ招集をかけ搜索する。施設より自宅に帰る途中（約 1.5km 離れた先で発見）歩いているところを発見する。体調面ではケガもなく特に問題ありませんでした。緊急事故対策委員会を開催、要因について検証し対策を検討しました。今回は職員の思い込みもあり、離設に気づく時間も遅れてしまった。ご本人は認知症状もあり、帰宅願望も毎日のように見られている。安心して過ごせる声かけ、所在確認、施錠のルール化を対策として実施。ご家族の協力もあり外出して気分転換も図れているので協力を得ながら再発防止をしていきます。
- ②感染症については体調確認、予防策を講じながら実施、職員、利用者共に感染は無し。感染報告も特になかったが今後も継続し対応していく。
- ③生産性向上（経費削減）：コピー機の入れ替え（5/1）
ご利用者との関わりの時間（アクティビティーの実施が定着）
- ④石岡市地域密着型介護サービス事業所協議会
5/15 ひまわりの館にて総会があり出席。今年度の事業案について報告あり。今年度より協議会の副会長となるので、他役員と連携し運営を図っていきます。総会后石岡市介護保険課の職員より地域密着型サービスの運営について規定をもとに留意点の説明がありました。
- ⑤運営指導
5/20 石岡市介護保険課より 3 名来園し巡回・書類確認をしていただきました。指摘事項がいくつかありましたので、改善し適正運営を図っていきます。
- ⑥第 1 回運営推進会議
5/28 運営推進会議開催、3 名来園され 3・4 月の運営状況について報告する。独居高齢者世帯の登録者が多い中での課題について質問あり。身元保証人がいない

利用者の対応について外部の保証機関に依頼を検討していることを説明。身寄りがいない方の保証人問題は今後も増えてくると思われるので関係機関に相談して行きます。

【人材育成】

- ① 体調不良や家事都合によるお休みが多く勤務調整にてカバーしている状況が続いている。介護、育児等抱えている職員も多くいるので、突発的な休みにも対応し、サービスに支障がないよう継続していく。
- ② 通い、訪問サービスは曜日によって偏りがあるのが現状としてある。効率化、連携・協働を職員が意識して考動しなければ、職員のストレスにも影響してしまう。生産性向上での目標やコアバリュー（価値観）で決められた内容を各自が意識していくことが課題として残っている。
- ③ 技術考査試験 1 名

令和 7 年度 6 月運営状況

【利用状況】

- ④ 月末登録者 27 名 利用延べ人数 830 名 稼働率 95.4%
長期宿泊者 9 名。宿泊 293 名/270 名、通所 204/270 名、訪問 354 件
- ⑤ 新規登録者 0 名、登録解除 1 名
利用相談 5 名あり（家族相談 3 名 病院 1 名）7/1 より 2 名が新規登録で 29 名となるため調整。（1 名に関しては登録待ち）
- ③ 現在登録されている方で状態の低下が見られている方はいない状況、区分変更申請は無し。認定調査 2 名対応
平均介護度 2.0 要支援ご利用者の登録も 7 名おり軽度化している。

【業務プロセス】

- ① 事故対策についてはヒヤリハット 35 件、事故 1 件であった。お茶をこぼしてしまうことでの火傷であった。幸い軽症で済んだが職員の過失によるものであった。ヒヤリハット報告書は多く出ているので、事故につながらないよう危機管理意識、緊張感を持って対応していくよう再周知する。
- ② 感染症については体調確認、予防策を講じながら実施、職員、利用者共に感染は無し。感染報告も特になかったが今後も継続し対応していく。
- ③ 生産性向上
6/16 に福祉マネジメント＆デザインの水田様によるサービス点検がありました

た。前回指摘があった点について施設内環境面での改善は進んでいるが、接遇、声かけにはまだまだ課題がある。サービス向上のために重要な項目なので今後も職員の指導をしていく。

- ④ 消防点検 6/30 実施（暁飯島工業）。同月にスプリンクラーの貯水タンクにエラーが出ていたため確認。

【人材育成】

- ② 体調不良や家事都合によるお休みが多く勤務調整。介護、育児等抱えている職員も多くいるので、突発的な休みにも対応し、サービスに支障がないよう継続していく。職員のストレママネジメントも必要な状況である為業務の平準化を図りながら対応している。

②部署内研修

熱中症対策について職員、ご利用者に対し熱中症対策について研修を実施。ご利用者に関しては独居生活の方も多くいますのでリーフレットを配布し注意喚起している。

③技術考査試験 1 名

- ④介護支援専門員受診申込み 2 名 今年初めてチャレンジする職員もいるのでサポートしていく。

会議名：国府あおい 令和 7 年度第 2 回運営推進会議 議事録

日時：令和 7 年 7 月 23 日（水曜日）14：00～14：30

場 所：国府あおい 事務室

参加者：石岡市介護保険課職員 利用者代表 地区代表（区長） 施設管理者

欠席者：利用者ご家族 在宅介護支援センター職員

記録者：井川 朋孝

運営状況報告書に沿って説明して話をしていく。

（別紙 運営状況報告書参照）

5 月・6 月の利用状況・行事関係・リスクマネジメント・感染症について報告

（質疑応答）

非常時の訓練について

Q・消防訓練等の防災訓練はどのようにされていますか？

A・年 2 回の実施義務があり、今年度は 9 月、来年 3 月に予定しています。通報訓練、避難訓練、消火訓練（水消火器使用）を毎回実施。また、非常時に職員の招集をする非常呼集訓練も年 4 回実施しています。

火災時の通報装置については非常ボタンでは通報されないため電話での対応となっている。（半径 500m 以内に消防署がある為）

リスクマネジメント

Q・5 月の報告に離設（利用者が施設から出てしまった）事故の記載がありましたがどのような状況でしたのでしょうか？

A・（5 月運営状況に記載内容を再度説明）緊急事故対策会議を行い、現在の状況について職員が持っている情報を共有する。それをもとに再発防止に向けた対策を講じる。玄関の施錠時間・方法や関わり方（認知症ケア）、所在確認等について共有していくことで対応している。

介護サービスについて

Q・通い・宿泊・訪問サービスとありますが、宿泊のニーズはどのような感じでしょうか

A・宿泊のニーズは常にあります。当事業所では独居、高齢者世帯、身寄りがいない（または遠方）等の理由で登録されている方が大半です。また猛暑の時期でもあり不定期での宿泊相談もあります。

ご利用者代表より（現在利用してのご意見）

- ・通いサービスを週 2 回利用しています。受診や買い物の送迎もお願いしています。
- 一人暮らしなので体調面での不安が大きいので相談して対応してもらっています。

【管理者より】

令和 7 年度第 2 回の運営推進会議にご参加いただきありがとうございます。

今回も所用のため在宅介護支援センターの方、ご家族様が欠席となっています。

ご質問等いただき、施設として支援、ご協力できることがあれば対応、改善をしていきたいと思いをします。

現在登録されている方は 29 名、ご利用される方が少しでも安心して地域で暮らせるよう支援していきます。

会議は 2 カ月ごとに開催しますので、次回は 9 月を予定しております。次回もご出席のほどよろしくお願いいたします。本日はお忙しい中ありがとうございました。